

#UiPathForward

日本市場の戦略と 2018年のプラン

長谷川 康一 – CEO, *UiPath Japan*

免責事項

本資料はUiPathにより情報提供を目的として作成、配布されています。いかなる形態にせよ、本資料の一部で複製する場合にはUiPathによる書面での許可が必要になります。UiPathが判断材料として参考に行っている情報源および情報が正しいものであることを慎重に精査していますが、ここに掲載されている情報がすべて正しく、完全なものであることを意味するものではありません。この情報を提供することでUiPathは受託者として行動しているものではありません。本資料に記載された詳細情報、意見は告知なく変更になることがあります。

The UiPath logo, consisting of the word "Ui" in white inside a white square, followed by the word "Path" in white. The background is a dark blue gradient with a large, stylized orange arrow pointing upwards and to the right.

UiPathの

日本市場の戦略

UiPathは日本を最優先市場としてコミット

UiPath Robotic Process Automation



最優先

Robotic Process
Automation

世界で有数の市場

1

速度

2

規模

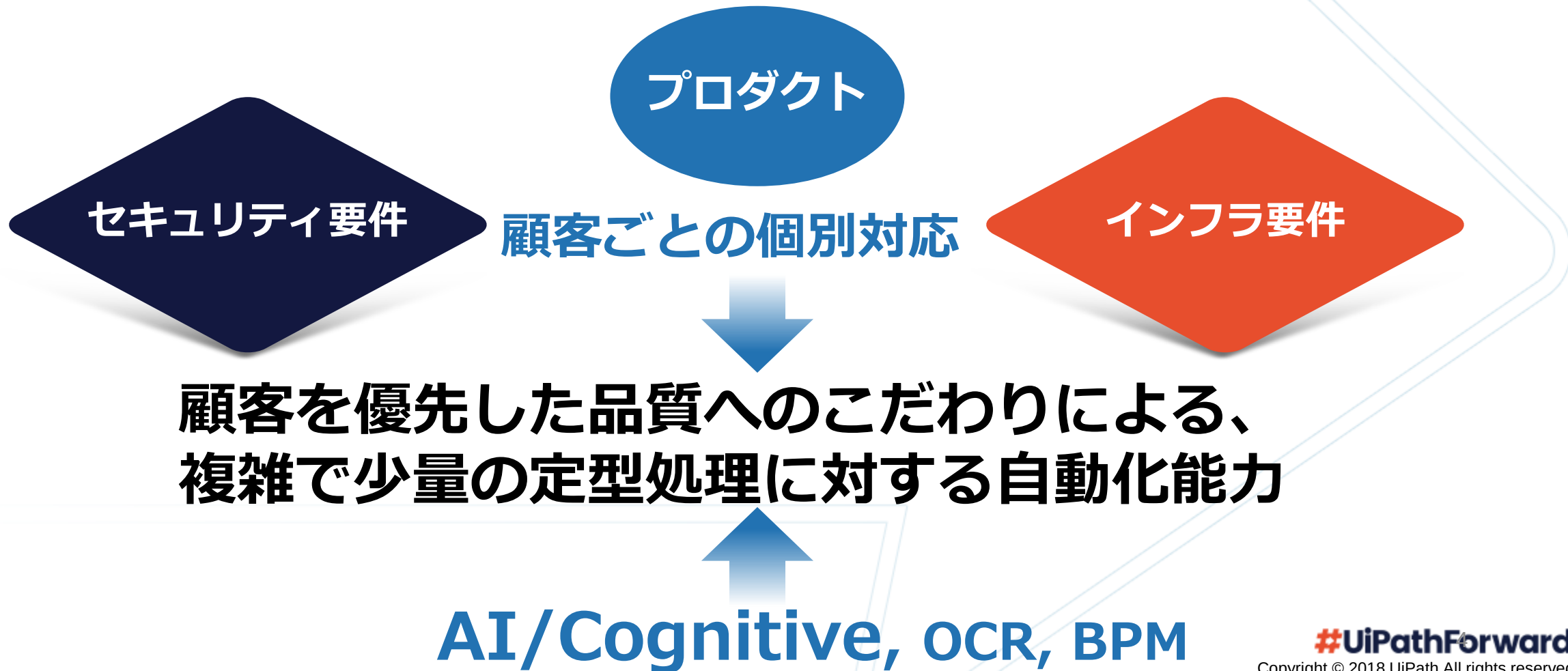
日本での実績がグローバルでの成功に繋がる

#UiPathForward

Copyright © 2018 UiPath All rights reserved.

日本での実績がグローバルでの成功に繋がる

RPAの自動化において日本の要求水準はグローバルの基準の先駆けとなる



日本での実績がグローバルでの成功に繋がる

日本のニーズを真に理解し発信、優先的にグローバル製品の機能として取り込み、製品標準としてリリースし、導入できる体制

1. 顧客・開発パートナー様の
ニーズを的確に把握



4. 導入サポート

サービス

2. グローバルの開発チームで
優先的に対応



3. グローバル製品としてリリース

フィードバック

リリース

顧客フィードバック 私たちの強み

2017年のUiPath
日本での実績

グローバルで
ベストの
プロダクト

1. コンピュータビジョン

Desktop, Web, Java, Citrix, terminal emulatorにアクセス可能

2. ユーザーフレンドリーなロボット開発

わかりやすいGUI、開発ツールの豊富さ

3. Small StartからEnterpriseへ

Desktop型でPOC、サーバー型へ展開、Orchestratorで統合管理

4. API(OCR, AI/Cognitive, BPM)への柔軟な インターフェイス

2017年CognitionXのAIイノベーションアワード受賞

グローバルな
サポート

グローバルが日本を最優先事項として対応、またローカルでの技術力、サポート力を持った人材の体制

RPAの自動化が経営基盤として 成功するための必要なポイント

1

スケール
(大規模)

2

レジリエンス
(環境適応力)

3

スピード
(即効性)

2018年のプラン

サービス



顧客



仕様変更



機能拡張

製品



STUDIO



ORCHES
TRATOR



ROBOT
Attended/Unattended

経営基盤としての自動化効果、
最大限（スケール）、安定的（レジリアンス）、
加速的（スピード）に効果を創出

① 日本仕様のグローバル標準製品への取り込み

② 日本語サポートの充実

④ マーケットプレイスの設立



Orchestrator



Attended



Unattended



Studio

③ 自動化サポート
ノウハウの提供

⑤ パートナー協業体制の拡充